

町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」の取り組みを進めています。町や地域が行うこの取り組みについて、毎月お伝えしていきます。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】

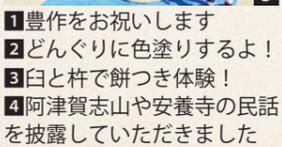


大木戸歴史むらづくりの会×あつかし歴史館 ～遊びと学びのミュージアム～ あつかし歴史祭「秋の収穫祭」を開催!

11月3日にあつかし歴史館で、あつかし歴史祭「秋の収穫祭」を開催しました。

町内の子どもたちを中心に160人が来場し、どんぐりと落ち葉を使ったワークショップや、国見民話の会による大木戸地区の民話の読み聞かせなどを楽しみました。

お昼が近づくと、校庭で餅つき大会が行われ、国見産の野菜をふんだんに使った芋煮とつきたての餅を味わいながら、秋の恵を堪能しました。



- 1 豊作をお祝いします
- 2 どんぐりに色塗りするよ!
- 3 臼と杵で餅つき体験!
- 4 阿津賀志山や安養寺の民話を披露していただきました

午後からは「大木戸歴史フィールドワーク」へ出発! 当日に秋の例大祭が行われていた高城の国見神社を参拝したほか、岩淵遺跡を訪れ、復元された当時の竪穴式住居の中を見学しました。

大木戸地区の歴史や文化を学び、食べて、体験した一日となりました。



国見神社のたからもの

～町有形文化財 奉納算額と宝楽俳諧奉額～

奉納算額 輸入された算数を、日本独自の方法で解いた数式が書いてある額

宝楽俳諧奉額 268年前に納められた、100人の人々が詠み継いだうちの36の歌が書かれている額

国見町郷土史研究会×国見町歴史まちづくりフォーラム 『石母田』の古道と城跡を歩く

11月18日に、石母田城跡と古道を歩くイベントが行われ、町内外から約70人が参加しました。

当日は、普段は入れない石母田城郭内を含めた城跡と石母田石や堀などの遺構、弁天神社(下紐の関)などを、ガイドの解説を聞きながら巡りました。

参加者は、石母田城を守る堀が地域の灌漑施設としての役割も担っていたことや、土塁と堀の高低差などを体感し、当時の面影に思いを馳せるとともに、石母田地区の歴史に触れる貴重な機会となりました。



歴史まちインフォメーション

あつかし歴史館特別展

災害史にみる『飢饉』展

12月24日(日・祝)まで展示中(平日月曜日休館)

場所 あつかし歴史館・第2研修室

時間 午前9時30分から午後4時30分

現在、あつかし歴史館にて、国見町郷土史研究会(中村洋平会長)が11月3日から4日に開かれた町文化祭で展示した「災害史にみる『飢饉』展」の特別展示を行っています。

江戸から昭和初期時代の東北地方の人々の、飢饉に関する絵画や資料等の記録を、解説付きで展示しています。



がんばるみなさんを応援 上位大会出場者に奨励金交付

町 青少年育成町民会議は11月12日と14日、東北大会や県大会に出場する児童生徒のみなさんに奨励金を交付しました。



奨励金を手に活躍を誓うみなさん



東北六県高等学校珠算・卓球大会に出場した岡田澤さん(右)

【第23回東北高等学校新人陸上競技選手権大会・第63回福島県高等学校駅伝競走大会出場】佐藤悠貴也(高2)、【第45回東北六県高等学校珠算・卓球大会出場】電卓競技(応用計算)／岡田澤亜(高2)、【第38回福島県中学校新人ソフトテニス大会出場】個人／小針光希(中2)、穴戸結(中1)、佐野竜都(中2)、栗原成希(中1)、団体／佐藤菜子(中2)他、【第47回福島県中学生新人卓球大会出場】団体／岡崎沙弥(中2)他



太田町長に受賞報告する澁谷さん(右)

生涯スポーツの普及・振興に尽力 澁谷陽子さんが功労者表彰を受賞

10年以上にわたり町スポーツ推進委員として尽力し、県スポーツ推進委員協議会功労者表彰を受けた澁谷陽子さんは11月6日、国見町役場を訪れ、太田久雄町長に受賞報告しました。太田町長が「10年は一つの節目。今後もさらなる活躍を期待しています」とねぎらい、澁谷さんは「これからも生涯スポーツを通して、町のスポーツ振興に尽力します」と話しました。

県北中学校

小さな天才たち

鈴木 花菜 (3年)

古川 朝陽 (2年)

武見 伽笑 (3年)

中野 心裕 (1年)

長谷川 柚葉 (3年)

「小さなせん車」高橋 一陽(国見小1年)
広報くにも11月号「小さな天才たち」(P6)の掲載作品に誤りがありました。訂正してお詫びします。